



# 学校だより

後期学校評価特別号

令和8年2月  
野々市市立野々市小学校

A あてはまる  
B だいたいあてはまる  
C あまりあてはまらない  
D あてはまらない



## 学校評価に関するアンケート結果の報告

12月に保護者の皆様には「学校評価に関するアンケート」にご回答いただきありがとうございました。このアンケートは、保護者の皆様、児童、教職員のそれぞれに対して行っています。その結果を分析・考察することで、さらによい学校づくりに生かしていきたいと思っています。  
★は児童アンケートにおける令和7年度前期学校評価との比較です。  
◎:よい ○:ややよい 一:同程度 △:ややよい ▲:よくない

|    | 評価内容 | A B C D   |     |     |     | 0% 20% 40% 60% 80% 100% |     |     |     |     | ★ | 取り組みについて |  |
|----|------|---|-----|-----|-----|-------------------------|-----|-----|-----|-----|---|----------|--|
|    |      | A   | B   | C   | D   | 0%                      | 20% | 40% | 60% | 80% |   |          | 100%   |
| 1  | 児童   | 授業が分かる  | 55% | 39% | 5%  | 1%                      |     |     |     |     |   | 1%       | - どの児童も「わかった」「できた」「がんばれた」という満足感や充実感ももてるような授業づくりを行います。そのために、1時間1時間の授業のねらいを明確にしています。そしてゴールの姿を児童と共に具体的に想像しながら授業を行います。   |
| 2  | 児童   | 課題の解決に向けて、考えたり、取り組んだりしている。                                      | 49% | 41% | 8%  | 1%                      |     |     |     |     |   | 1%       |  |
|    | 教職員  | 重点1に基づいて児童が動き出せるように課題の設定を工夫している                                 | 52% | 45% | 0%  | 2%                      |     |     |     |     |   | 2%       | - 児童の問いや問題意識をもとにした単元導入の工夫や見通しがもてる学習計画作り等を丁寧に行っていきます。児童が学習に対しての見通しや課題意識をもって、動き出せるような、児童の主体的な姿を大切にしています。   |
| 3  | 児童   | 学んだことを生かして、まとめたり、ふり返ったりしている。                                    | 47% | 41% | 11% | 2%                      |     |     |     |     |   | 2%       | △ 授業の中で、まとめの書き方や、ふり返りの視点を持ち、粘り強く取り組んできた成果が表れています。単元全体や、1時間の授業の中で「つきたい力」をもとにして、各教科等の「見方・考え方」を働かせた思考の流れやゴールの姿を児童の言葉で描きながら、具体的な手立てを考えていきます。   |
|    | 教職員  | 重点2に基づいて児童が見方・考え方を働かせてゴールに向かうための手立てを工夫している。                     | 36% | 59% | 2%  | 2%                      |     |     |     |     |   | 2%       |  |
| 4  | 児童   | 授業でクロームブックを使って情報を集めたり、まとめたりしている。                                | 64% | 31% | 4%  | 1%                      |     |     |     |     |   | 1%       | - 児童が主体的に学ぶためのツールとして活用していきます。クロームブックの正しく効果的な使い方についても、児童と共に確認を行いながら、活用していきます。   |
|    | 教職員  | クロームブックを活用して、考えを表現する授業を実施している。                                  | 25% | 45% | 25% | 5%                      |     |     |     |     |   | 5%       |  |
| 5  | 児童   | 目と耳と心で話を聞いている。  | 49% | 44% | 6%  | 1%                      |     |     |     |     |   | 1%       | ◎ 前期の質問は、「グーベタピンで話を聞いている」でしたが、「目と耳と心で話を聞く」という内面に目を向けた質問に変更しました。様々な場面で児童とともに確認を、大切にできた言葉でもあるので、前期に比べ、A評価の児童が大きく増加しました。今後はさらに「反応しながら聞く」など意識を高められる取組を行っています。  |
|    | 教職員  | 授業で姿勢を見取り、グーベタピンの声掛けを徹底している。                                    | 48% | 48% | 5%  | 0%                      |     |     |     |     |   | 0%       |  |
| 6  | 児童   | 自分からあいさつやえいやくをしている。   | 61% | 29% | 7%  | 2%                      |     |     |     |     |   | 2%       | ○ 前期と比べると、校内のあいさつも活発になってきているように感じます。現在、自分からあいさつができることを目標に、「あいさつ相撲」の取組を行っています。相手よりも先にあいさつすると、あいさつできた人数によって番付が上がっていくものです。学校では「おはようございます」「こんにちは」の元気なあいさつがたくさん聞かれています。家庭でも「自分からあいさつ」を働きかけていただき、今後も、学校・保護者・地域の連携を図りながら、あいさつの大切さを伝えていきたいと思います。 |
|    | 保護者  | お子さんは自分から大人(家族や見守り隊、バスの運転手、地域の人等)にあいさつしている。                     | 60% | 34% | 5%  | 1%                      |     |     |     |     |   | 1%       |  |
|    | 教職員  | 教師が児童・来校者に対して自分からあいさつしている。                                      | 82% | 18% | 0%  | 0%                      |     |     |     |     |   | 0%       |  |
| 7  | 児童   | ろうかをは走らず、右側を歩いている。  | 36% | 50% | 11% | 3%                      |     |     |     |     |   | 3%       | △ 児童全体の肯定的評価は約87%と、前期と同様の結果となりましたが、低学年・中学年・高学年でそれぞれ課題が異なっており、今後は、それぞれの原因と考えられることにアプローチしていきます。また、全学年共通して「歩けた」「止まれた」といった望ましい行動をその場で認め、短い声かけを繰り返す指導を継続することで、行動の安定と自律した行動を目指していきます。  |
|    | 教職員  | 廊下を走っている児童を止め、歩くよう指導している。                                       | 68% | 27% | 5%  | 0%                      |     |     |     |     |   | 0%       |  |
| 8  | 児童   | 友達をきずつけない温かい言葉で話している。   | 53% | 39% | 7%  | 1%                      |     |     |     |     |   | 1%       | △ 前期同様、肯定的な評価は高い結果を得られましたが、学年が上がるにつれて評価が下がる傾向にあります。友だちとの関係が慣れてきたことで、言葉遣いが悪くならつたラブルになるケースも見られます。今後の手立てとして、前期同様、日常的な価値づけを大切にすることを続けていきます。また、温かい言葉を使う意識を高めていくことができるように、温かい言葉(ふわふわ言葉)や相手を傷つけない言葉(チクタク言葉)を児童と共に確認しながら生活をしていきます。               |
|    | 保護者  | お子さんに温かい言葉で接している。   | 31% | 49% | 17% | 3%                      |     |     |     |     |   | 3%       |  |
|    | 教職員  | 児童に対して丁寧な言葉を意識して話している。  | 45% | 55% | 0%  | 0%                      |     |     |     |     |   | 0%       |  |
| 9  | 児童   | シャツを入れ、ズックをはくなど、身なりに気をつけている。                                    | 73% | 21% | 5%  | 2%                      |     |     |     |     |   | 2%       | ○ 全校児童のうち94%は肯定的な回答をしています。身なりについて意識している児童が多いことがわかります。しかし、登下校時に安全帽子をかぶっていない人もいます。学校では、1年生～6年生までが安全に登校できるように帽子をかぶっていない児童には、毎日、声掛けをしています。安全帽子は、怪我・熱中症予防や車からの見つけやすさなどにおいて大変効果的なものです。ご家庭でも安全帽子の着用にご協力ください。                                    |
|    | 教職員  | 身だしなみ(シャツイン、ズックのかかと入れ)を見逃さず指導している。                              | 68% | 30% | 2%  | 0%                      |     |     |     |     |   | 0%       |  |
| 10 | 児童   | 係や当番、委員会などの仕事に、自分から進んで取り組んでいる。                                  | 56% | 36% | 6%  | 2%                      |     |     |     |     |   | 2%       | - 学年で肯定的評価が90%以上となっていることから、概ねよい評価といえます。しかし、今年度の前期評価に比べてAB評価の割合がやや下がっていることから、遊びなどを優先して自分の仕事を忘れてしまう姿が増えたとも考えられます。児童の意識をさらに高めるためにも、頑張っている姿を価値づけるとともに、自分の仕事を忘れないように視覚化したりふり返りの時間を設けたりする取組などを大切にしています。  |
|    | 教職員  | 児童が学校や学級をよりよくしようとしている姿(係、当番、委員会、クラブ、友達へのかかわり、お手伝い等)を見つけて、ほめていく。 | 86% | 11% | 2%  | 0%                      |     |     |     |     |   | 0%       |  |
| 11 | 児童   | 学校は楽しい。   | 59% | 29% | 8%  | 4%                      |     |     |     |     |   | 4%       | - 保護者の肯定的評価が昨年度に比べて高い水準を維持しています。今後も、日々の授業や学校行事への子どもたちの主体的な姿を大切にしています。また、日頃の児童の言動や表情を観察し、サインを感じた時は、聞き取りと対応を迅速に行います。児童の悩みや不安、困り感に寄り添い、改善策を共に考え、学年教師や必要に応じて全校職員で共有していきます。   |
|    | 保護者  | お子さんは、楽しそうに学校に通っている。  | 88% | 10% | 2%  | 0%                      |     |     |     |     |   | 0%       |  |
| 12 | 児童   | 自分にはよいところがあると思う。  | 54% | 31% | 10% | 6%                      |     |     |     |     |   | 6%       | - 前期に比べ、肯定的評価の割合は上昇していますが、高学年になるにつれて下がっていく傾向が見られます。学校では、学年末に向けて、自分の成長のふり返りを行い、自身が成長を実感できるようしていきます。ご家庭でも、子どもができたこと(結果)やがんばったこと(経過)について、励ましと応援をお願いします。   |
| 13 | 保護者  | お子さんは朝ご飯を食べている。   | 57% | 42% | 1%  | 0%                      |     |     |     |     |   | 0%       |  |
| 14 | 保護者  | 学校は、学校だよりや学校公開等を通じて、「地域と共にある学校づくり」に努めている。                       | 34% | 60% | 6%  | 0%                      |     |     |     |     |   | 0%       | 日頃より、学校教育へのご理解と協力ありがとうございます。児童の望ましい生活習慣が身につくよう、ご家庭と学校とで連携した働きかけを行っていきましょう。今後も、学校だよりや学校ホームページによる情報提供、学校公開等を継続して参ります。今後もtetoru配信が中心となりますが、確実に保護者の皆様へ届くように取り組んでいきます。また、安全な学校づくりのために引き続き、来校の際、名札着用(学校より配布)を保護者をお願いします。                       |

■あてはまる ■だいたいあてはまる □あまりあてはまらない □あてはまらない